

Excel 連携『SS7』の特殊荷重リストをシートに読み込む

本プログラムの説明

Python のライブラリは豊富で、Excel と連携できるものもあります。そのライブラリ (xlwings) と『Op.Python 実行』を利用することで、Excel 上の操作のみで『SS7』を起動することなく『SS7』のデータを読み込みが可能になります。



このサンプルでは、Excelのシートに記載している『SS7』データパスを読み込み、該当する『SS7』データの入力データCSVを出力し、特殊荷重リストの部分を Excelシートにコピーします。

本プログラムの実行方法

マクロが組み込まれているExcelファイル (特殊荷重リスト.xlsm) の[特殊荷重の読み込み]ボタンがあるシートで、以下のように設定します。

B1セル：SS7データのパスを拡張子.iknまで入力してください。

B2セル：入力データ,結果1~5 を選択してください。

No.	荷重名称	タイプ	P1	P2	P3	P4	P5	P6	CMoQoのみ	LL/TL	地/ラ
1	屋根外周	4	03						No	0	1
2	設備機器	1	40	3000	0	0	0	0	No	0	1
19	歩廊1	1	10	1000	0	0	0	0	No	0	1
20	歩廊2	1	10	5000	0	0	0	0	No	0	1
21	歩廊3	1	10	1250	0	0	0	0	No	0	1
22	歩廊4	1	10	4500	0	0	0	0	No	0	1
3	ラック荷重1	4	37						No	0	1
4	ラック荷重2	4	63						No	0	1
5	ラック荷重3	4	54						No	0	1

[特殊荷重の読み込み]ボタンをクリックすることで、Pythonの関数を実行するマクロを実行します。

読み込みに成功すれば、D5セルに「入力CSVの出力に成功しました。」、D6セルに梁荷重、床荷重、節点荷重の

数が表示され、10行目以降に『SS7』で入力した特殊荷重リストが読み込まれます。
読み込みに失敗すれば、D5セルに「物件データを開くことができませんでした。」「この物件データに 結果# は見つかりませんでした。」「入力CSVの出力に失敗しました。」のいずれか、D6セルにその理由が表示されます。

注意事項

『SS7』データはセットアップされている最新バージョンが対象になります。

『Op.Python実行』の設定手順

Ss7Pythonライブラリを使用するための設定手順です。

1. 『SS7』を起動し、[ツール – 環境設定 – Op.Python実行]画面を表示します。
2. “利用可能なPython言語のバージョン”を選択し、[デスクトップへコピー]ボタンをクリックします。
3. デスクトップにある「Python」フォルダごと、「src」フォルダにコピーします。

必要な外部ライブラリ

以下の外部ライブラリをPython実行環境にインストールしてください。

- xlwings 0.29.1

```
pip install xlwings
```

外部ライブラリのライセンスは「LICENSES/ライセンスについて.txt」を確認してください。
xlwingsについて、アドイン設定も必要です。詳しくは [xlwingsアドイン設定.pdf](#) を参照してください。

著作者

Copyright (C) 2024 UNION SYSTEM Inc.

ライセンス

本プログラムは MIT License に基づいています。「LICENSE」を確認してください。